興南高校56期 総合進学コース

堀江 直人

関西学院大学

社会学部へ進学

松島中学校出身
男子バスケ部所属

＊高校では文武両道

中学の時には部活と勉強の切り替えができていなかったが、高校では文武両道を目指していたので、今やるべきことに集中してやりきることで、次のことに切り替えて取り組むことができた。部活動を通して、周りにも気を配って、気づいたことを行動に移す力が身についた。例えば、ゴミが落ちていたとしてそれに気づいて拾わない人もいるが、それを拾うことが当たり前にできるようなった。

―総合進学コースとは？―

ほぼ全員が部活動に所属していて、他のコースにくらべて勉強面は基本を中心に学べるので、部活動との両立がやりやすかった。スキマ時間などを使って勉強をして、成績を維持していた。クラスの雰囲気は、男子が多いので行事は盛り上がるし、授業中の難しい問題もみんなで考えて助け合える空気感があった。総合コース2クラスで一つのクラスのような雰囲気。

―興南はどんな学校？―

充実した3年間だった。コースに分かれているので、いい意味で目標も考え方も得意なことも違う友達ができ、おもしろい考え方とかあってタメになった。バスケ部は県外に大会や遠征に行っても知られていて伝統を感じた。「心体技」を大切にしている部活で、他校のようにコートの割り振りでコートが使えない日がなく、朝からいつでもバスケの練習ができる環境があるのは興南の強みだと感じていた。

―興南の先生って？―

井上先生は、バスケットの技術よりもそこにいたるまでの挨拶や礼儀を大切にする先生。自分の中で一番変わったのは、人とのつながりを大切にして、協調性の大切さを学んだ。自分の意見を伝えられるようになった。

―これからの目標は？―

大学では、スポーツ社会学を学んで、プロスポーツチームと地域との関わり方やスポーツを通して地域活性化するために必要なことを学びたい。大学でもバスケットを続けて、関西リーグや西日本大会で好成績をおさめられるように努力をし続ける。